

Dialogue 20 Saying what you like doing

-するのが好きなことをいう-

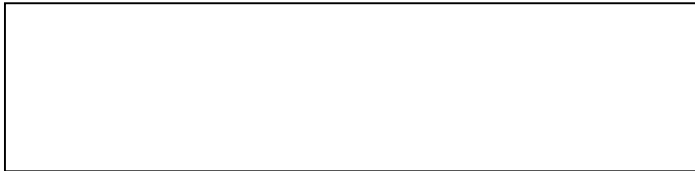
教室での活動案

アクティビティ名：“Let’s ask!”

行動が描かれた絵を使って好き嫌いを表現する伝言ゲーム。

- 1) 生徒をグループ別に縦1列に座らせておく。
- 2) 教師は行動が描かれた絵を貼り、それぞれの発音を生徒と確認し、練習する。

行動の絵の例：



- 3) 生徒に Do you like swimming?などとたずねる。
- 4) 生徒は “Yes, I do” か “No, I don’t” で答える。
- 5) 一通り練習したら、教師は行動の絵のカードを箱に入れ、その中から1枚取り出して伏せておく。
- 6) 各グループ先頭の生徒を前に集め、他の生徒に聞こえないようにそのカードの行動について好き嫌いをたずねる (“Do you like reading comics?”など)。生徒は一人ひとり “Yes, I do”か “No, I don’t” と答える。
- 7) 先頭の生徒は自分のグループに戻り、「スタート」の合図で、2番目の生徒に “Do you like reading comics?”とたずねる。
- 8) 2番目の生徒はたずねられたら “Yes, I do”か “No, I don’t”と答え、3番目の生徒に同じ質問 “Do you like reading comics?”を行う。
- 9) 最後まで回った列は起立し、全員で声をそろえて、“Mr./Ms. ○○, Do you like reading comics?”と教師にたずねる。教師は “Yes, I do”か “No, I don’t”で答える。早く教師に質問できた列の勝ちとなる。

例：

教師) Class, do you like swimming?

生徒) Yes.

教師) OK. You should say, “Yes, I do.” Repeat after me. “Yes, I do.”

生徒) Yes, I do.

教師) Good. Do you like skating, A(生徒の名)?

生徒 A) No.

教師) OK. You should say, “No, I don’t.” Repeat after me, class. “No, I don’t.”

生徒) No, I don’t.

教師) Very good. Then, let’s start a *Dengon* Game!

生徒) Wow !

(実際に任意のグループを使ってデモンストレーションし、生徒にやり方を理解させておく。)

教師) The first people, come here. (手招きする)

(先頭の生徒たちが集まる。)

教師)(小声で) Do you like reading comics?

各生徒) “Yes, I do.” or “No, I don’t.”

教師) OK. Go back to your own group.

(先頭の生徒たちは各グループへ戻る。)

教師) Are you ready, class?

生徒) Yes!

教師) All right. Ready go!

教師) みんな、泳ぐのは好き?

生徒) はい。

教師) OK。「はい、好きです」の方が良いな。繰り返して。「はい、好きです。」

生徒) はい、好きです。

教師) 良くできました。じゃあ、Aさん、スケートは好き?

生徒 A) いや。

教師) OK。「いいえ、好きではありません」の方がいいね。みんな、繰り返して。

「いいえ、好きではありません。」

生徒) いいえ、好きではありません。

教師) とても良くできました。それでは、伝言ゲームを始めましょう!

生徒) やったあ!

(実際に任意のグループを使ってデモンストレーションし、生徒にやり方を理解させておく。)

教師) 先頭の人こっちへ来て。(手招きする)

(先頭の生徒たちが集まる。)

教師)(小声で) マンガを読むのは好き?

各生徒) 「はい、好きです。」 「いいえ、好きではありません。」

教師) はい、それでは自分のグループへ戻って。

(先頭の生徒たちは各グループへ戻る。)

教師）みんな、準備はできたかな？

生徒）できたよ！

教師）それでは、よーい、はじめ！